

「神川小学校の銭太鼓伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立神川小学校

2 学年・人数

5・6年生（計22人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年9月～10月

神川小学校体育館

令和3年11月11日（木）

学習発表会リハーサル（神川小学校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和3年11月13日（土）

神川小学校学習発表会（神川小学校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

銭太鼓（ぜにだいこ）

(2) 由来

約200年前から、鳥浜地区の諏訪神社秋祭りに翌年の豊作を祈願し踊り続けられてきた。

(3) 構成等

踊りは長さ30cmの竹筒の中に硬貨を入れ、この竹筒2本を持って座って踊る。曲に合わせて、三味線や太鼓で踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

これまで銭太鼓を伝承している錦江町内の文化協会の方が、神川小学校の5・6年生に指導及び伝承してくれていた。ただ指導者の高齢化や昨今の感染症対策の関係で、指導に来られない場合が多くなったため、昨年5年生で覚えた内容を、今年の6年生が5年生へ伝承する形をとるようになっている。指導者には隔年で指導してもらう方向で、地域と学校が連携をとって行っている。このことから銭太鼓が神川小学校に馴染んでいくことがうかがえる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

上記にあるとおり、学校と地域、そして文化協会の方が連携をしっかりとってきた。ただ伝承者も高齢となっており、児童同士の伝承（児童同士で教え合う新しい形）の流れができていく。文化協会の方には、近すぎず遠すぎず、見守り的な形で協力をお願いしている。

7 取組の様子（発表当日の様子）



学習発表会の様子

8 参加児童・保護者・教職員等の感想

【発表会の保護者感想】

- ・ 錢太鼓，とても上手でした。ステージ下の5年生も来年頑張ってください。
- ・ 頑張っている神川小の子供たちを見て感動をもらいました。元気をいっぱいありがとうございました。
- ・ 子供たちに元気をもらいました。最高の発表会，本当に有難うございました。
- ・ 錢太鼓，まだ続けられていたのですね。17～18年前娘が小学校の頃を思い出しました。これからも少人数ですが，元気のある小学校であってほしいです。

【教職員感想】

- ・ 指導には時間を要するが，伝統を引き継ぐという面では，今後も続けていかなければと思う。
- ・ リズムを刻むところや，音を合わせるところが難しく時間がかかった。来年は今の5年生が6年生となり，新5年生に教えていってほしい。